



いちかわみさと

議会だより

第10号

2008年2月1日発行



○ちょっと一息（市川大門地区第23育成会 道祖神祭り）

平成19年
12月定例会

医師確保のための条例制定	2ページ
常任委員会の報告	4～5ページ
5議員が町政をただす	6～8ページ
あの話 どうなってるずら	9ページ
ぼくの夢 わたしの願い	12ページ

医師確保への期待

手当増やして対応



地域医療を守る医師

医師確保のため、町立病院に勤務する医師に対し、現行より最大で月額50万円多く支給することができる条例を制定しました。医師確保ができる間の特例とする条例で、県内では上野原市で事例があり医師確保策の一つとして期待が高まります。

最大50万円の増額

職名	現行	特例による支給額
院長・施設長	50万円	50万円以上 100万円以下
副院長	25万円	25万円以上 75万円以下
主任医師・医長	15万円	15万円以上 65万円以下
その他の医師	10万円	10万円以上 50万円以下

条例の制定

医師不足が深刻な町立病院の医師確保のため特殊勤務手当の特例に関する条例の制定、指定寄付金による町立保育所古屋振興基金条例の制定が提案され、全会一致で可決しました。



市川南保育所

古屋振興基金

使いみちを指定する多額の寄付金を、大同地区の宗教法人妙學寺古屋智妙様よりいただき、基金としたものです。後に町立保育所の備品購入のために活用します。この他大同地区の街灯整備費として寄付をいただき、整備をします。

総括質疑

今議会提案の議題内で大綱的な質問をします。

問 松野清貴

町営岩間団地は約7億円かけて建設され、17・18年で計画は終わっている。なぜ今、土地取得が出てくるのか。

答 建設課長

この用地は、年25万で借りていた。整備が整ったので、財産管理委員会に対し買収をお願いした。

問 秋山詔樹

合併処理浄化施設の補助金は当初予算で210万円、今回の追加が391万だが、予算の組み方に不備があったのではないかと。

答 町長

ご指摘の通り。戸数や進ちよく率を見通す中で、数字の確定をする前に色々な精査が必要であったと思う。



私たちの身近な予算 タイヤロック機具5基購入

税の徴収対策

(万円未満は四捨五入)

平成19年度一般会計補正予算

●収入支出の補正額は

補正額 1億2,695万円
総額 91億5,904万円

●収入のおもな内訳は

地方交付税	5,000万円
繰越金	1,608万円
負担金など	4,226万円
国県支出金	1,362万円
地方債	500万円

おもな内容

福祉・環境に使うお金

老人保健特別会計繰出金追加	1,330万円
老人福祉施設入所措置費追加	767万円
乳児医療費助成金追加	384万円
合併処理浄化槽設置補助金追加	391万円

土木・農林に使うお金

旧宮原農排処理施設撤去工事費	406万円
中山間総合整備事業負担金追加(防火水槽整備)	475万円
大塚2工区圃場整備換地計画業務委託料追加	167万円
町道落居五八線災害復旧工事費	257万円
新たな水田農業確立支援事業費補助金	150万円



購入予定のトラクター



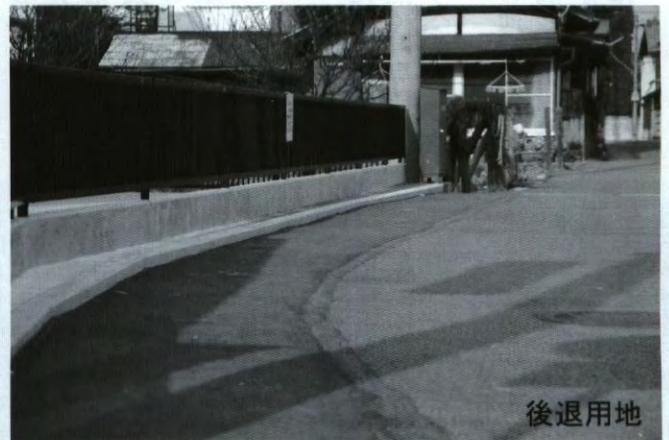
タイヤロック

税の徴収対策に使うお金

確定申告支援システム負担金減額	△176万円
自動車差押えタイヤロックなど	30万円

まちづくりのために使うお金

大同地区街路灯改築委員会補助金	1,500万円
狭あい道路後退用地分筆作業等委託料追加	175万円



後退用地

消防に使うお金

消防団員退職報償金負担金追加	102万円
上野地区消火栓設置工事	55万円

学校・社会教育に使うお金

六郷小防火シャッター修繕費	76万円
楠甫自治公民館入り口土地購入費	142万円
市川保育所保育室建具等修繕費追加	99万円
町内保育所運営費委託料追加	3,017万円
町立保育所古屋振興基金	1,000万円



常任委員会報告

質疑の一部を要旨のみ掲載します。

総務教育常任委員会

問 医師の特殊勤務手当の特例に関する条例で、支給額が50万円以上100万円以下とあるが、どのような基準で金額を決めるのか。

町長 医師の採用状況や、病院の経営状況を判断して決定していくが、細部については要綱を作成して対応する。

問 条例の制定によって医師確保の決め手になりうるのか。

町長 全て解決するわけではないが、可能性はできると考えている。

問 差押え車両運搬委託とタイヤロック購入の数量算出根拠は。

税務課長 始めての事業であり、数量の算出は困難。今回は、暫定的な数量で予算計上したが、不足の場合は追加をお願いする。



改修される大同地区の街路灯

問 大同地区街路灯改築工事の発注は、改築委員会が指名し入札を執行してよいのか。

町長 入札等の執行方法については、改築委員会に決定してかまわない。

問 原油高騰の折、公用車のほか各施設の燃料費は、当初予算内で賄えるのか。

財政課長 公用車の燃料費は予算内で賄えているが、早急に各施設の調査を行い対応していく。

問 学校施設で、給食エレベーターと防火シャッターの修繕費が計上されているが、業者の責任は教育総務課長 保証期間を経過しており、業者には責任を転嫁できない。

問 防火シャッターの修繕は、児童・生徒の安全を確保するため、故障が発生した時点で、専決して予算計上すべきではなかったか。

町長 指摘の通りであり、今後安全に関わる施設は、学校管理者が定期的に点検するように注意していく。

厚生常任委員会

問 保育所の委託料が大きく追加されているが、園児数の詳細な説明を。

保育課長 三珠保育所4人増、山保保育所4人減、高田保育所1人増、立正保育所13人増、ひまわり保育所3人増で、他は増減ない。

問 報道されたノロウイルスによる食中毒の原因とその後の対策は。

保育課長 原因は園外からの持込と考えられる。対応は保護者への説明、薬剤による園内の徹底した拭き掃除、外出時の手袋着用、食器類の塩素消毒などを行っている。

問 乳幼児医療費助成金追加は、現在まで何人助成したのか。

いきいき健康課長 4月から10月までの延べ人数は4633人である。

問 合併処理浄化槽設置補助金が、当初予算を上回って追加されているが理由はなにか。

生活環境課長 当初予算は5人槽を5基計上した

が、その後、希望者が大幅に増え追加した。

問 農業集落排水事業で、18年度において使用料の未収金が多額であったが、決算後の徴収実績は。

生活環境課長 決算審査後11月までに8万7650円収納した。

問 へき地医療拠点病院設備整備補助金交付を受ける際、上限額の制約はあるのか。

病院総務係長 補助金額は1年度5600万円が上限。医療機器については1機器25万円以上の規定がある。

問 病院施設は、耐震診断の結果、危険と判断されると思うが、病院機能を維持する方策をどのように考えているのか。

町長 地域医療を守るため、現在地に病院を残したい。危険と判断されれば老健施設を含めて病院機能を維持していかねばならない。病院改革のプランのなかでガイドラインが示されているので20年度中には病院の進む方向を示していく。

常任委員会開会日

総務教育常任委員会 12月 7日
 厚生常任委員会 12月10日
 土木産業常任委員会 12月11日

土木産業常任委員会

問 町営岩間団地の土地所有権者は「岩間財産管理委員会」とのことだが登記簿上はどうか。
建設課長 土地の名義は町名義である。

問 登記簿上は町で、所有権は管理委員会ということだが証書はあるのか。
建設課長 合併協定の中で、所有権は「岩間財産管理委員会」が引き継ぐとなっている。

問 新たな水田農業確立の補助金で、トラクター

を購入するということだが、使用方法の不徹底から生じた事に補助金を使っているのか。

産業振興課長 新規就農者が増えているので1台増の要望があった。管理指導を徹底するとともに、使用簿の義務付けをしていく。

問 中山間総合整備事業負担金の追加は、防火水槽2基で475万円か。
産業振興課長 防火水槽の工事費が3千万円で、それに対する負担金は15%

事業に対する事務費が25万円と定められている。

問 有害鳥獣防除資機材補助金追加で74万円計上してあるが、被害状況や捕獲数などの経過を知りたい。

産業振興課長 本年は猪が病気で数が減ったと思われる被害はかなり減少している。現在までの捕獲数は、猪17頭、カラス67羽、猿1頭、日本鹿2頭である。

問 「みたまの湯」の電動バルブは建設当時と同じ物を使っているのか。
産業振興課長 修繕しながら、建設当時と同じものを使用している。

問 昨年12月の時点では、地中から地上への移設は難しいとのことだったが、今回移設工事の予算計上をした理由は。

産業振興課長 昨年12月と今年10月に故障した。原因は、建設直後にはわからなかったが、地下水の影響ということなので、今回地上へ移すことに決めた。



町営岩間団地とポケットパーク

請願の審査

◎ 採択
 身体障害者に対する駐車禁止除外指定の対象範囲の基準を従前の対象者を排除しないようとする意見書の提出を求める請願
 請願人
 山梨県身体障害者連合福祉会
 会長 浅野伸二

市川三郷町身体障害者福祉会
 会長 遠藤 昭
 紹介議員 望月隆夫
 赤池貞親

◎ 採択
 教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願
 請願人
 西八代郡PTA連絡協議会
 会長 窪田正彦

西八代郡公立小中学校校長会
 会長 佐藤和人
 西八代郡公立小中学校教頭会
 会長 笠井良記
 山梨県教職員組合西八代支部
 執行委員長 佐野一浩
 紹介議員 松野清貴
 有泉 希

◎ 継続審査
 後期高齢者医療制度に関する請願
 請願人
 山梨県社会保障推進協議会
 会長 上所 洋

紹介議員 一瀬 正
 村松武人

どうする 道路・水路改修

遠藤 浩

ここが
聞きたい!

一般質問「町政をただす」

町の行政全般に対して、事務事業の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信をただします。



この町の姿を永遠に

●5人の議員が質問

掲載は要旨のみとします。

議事録は議会事務局で閲覧できます。

顔写真は年1回初回のみとします。

問 税の滞納問題で、徴収強化のための体制づくりが必要と考えるが。

町長 準備委員会から徴収対策本部に切り替え、12月を滞納整理強化月間と定め、休日および夜間も徴収を行っている。年度末には全庁的な収納体制の確立を図っていく。

問 「神明の花火大会」を近隣自治体と共同開催にしてはどうか。

町長 来年は20回大会である。共同開催とまでい

かないまでも、駐車場の確保、警備等協力体制を頂けるよう近隣自治体

にお願いする。

問 原油高騰に対する対策室を設置すべき。

町長 非常時への対策が必要な時、早急に対応ができるよう、課長会議で議論をしていく。

問 「みたまの湯」にある調理加工実習室の設備

を充実させるべき。



調理加工実習室

町長 加工食品の製造設備が必要かどうかについては、直売部会の要望を聞き対応を考える。

問 町内道路、水路の改修はどう進めるのか。

町長 限られた予算で数多くの要望箇所の確認を行い、緊急を要する箇所を優先する。他は地域バランスを考え、年間計画を立て実施していく。

問 小学生の学力向上に向け、算数科の専任制はどうか。

教育委員長 学力低下、2極化を防止するため、町内の小学校には町採用講師4名も加え、きめ細かな指導を行い効果を上げていく。定数改善を県教委に要望していく。

ほかに財政、教育、文化等に関する4件の質問がありました。(省略)

富士見団地

第2期工事の見通しは

一瀬 正



1月7日から工事を再開した富士見団地

問 富士見町営住宅第2期工事の遅延原因と責任の所在、損害の発生と補償はどうなっているか。

町長 改正建築基準法の施行で、建築確認が厳格となり遅れている。補償は考えていない。構造変更で増額になる分は交付金の対象となる。工事の早期再開に努める。

問 町立病院の経営状況と、今後どのように経営展開をしていく方針か。

町長 19年度の単年度欠損金は2億3・700万円、19年度の累積赤字は5億700万円の見込み。医師確保を第一とし、健全経営を検討する。規模縮小で継続や、病病連携等さまざまな方策を検討していく。

問 後期高齢者制度の問題点と、町としてどのような施策を展開しようと考えているのか。

町長 新しい制度で誰もが安心して医療が受けられ、相応する給付が提供されることが大切。保険料の軽減は、税負担の公平性の観点から行うべきではない。新制度の説明会は1月をめどに行う予定。

問 役場内に「住宅斡旋相談室」を設置する計画はどうなっているか。

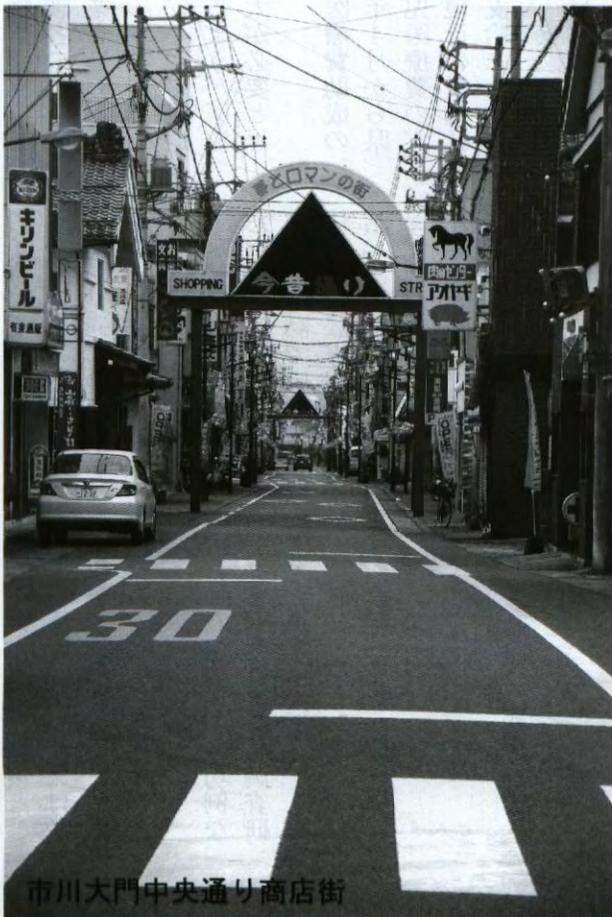
町長 18年度、住宅リフォーム相談窓口を、19年度総合的住宅相談窓口を建設課内に開設した。

問 臨時職員の待遇はどのようになっているか。

町長 臨時職員は計122人で、規定により適用運用している。正規採用に際して優先してはいない。若年層の人材確保や安定的雇用に努める。

商店街を明るくにぎやかに

青沼 博



市川大門中央通り商店街

問 合併前に商工会の主導で、旧町単位に街路灯が設置されたが、10年以上経過し老朽化が著しい。県の補助事業を活用して再整備をすべきだ。

町長 商店街を明るく、にぎやかにすることは、商店の活性化と安心安全なまちづくりのため必要である。平成20年度からの事業として、県に商店街活性化再生支援事業補助金の要望を提出した。総事業費1200万円、

5年間の継続事業で300本を修理する計画で、県の補助金は3分の1、残りの負担については、商工会と協議する。

問 具体的な費用の分担はどうなっているのか。

町長 大同地区については1500万円という高額なご寄付を頂き、それを活用する。それ以外の地区については商工会と十分協議した上で事業を進める。

情報通信システムの 利活用は

小林一史

問 情報通信システムについて、現行の投資額は十分か。十分な活用がなされているか。

町長 旧町で使用していた機器のうち、利用可能なものは使用。不足分は調達し運用している。

問 オンライン申請の対応率と利用状況は。今後の方針は。

町長 39の手続きの申請・届け出が自宅からでき、有料配達サービスが可能。

4月から10月末の集計で、全県下の合計は491件、本町では10件。次期共同システムでは、検討ワーキンググループが決められている。

問 セキュリティ対策は万全か。

町長 システム上は高度に保護された環境にある。職員に対する規範として情報セキュリティハンドブック等があり遵守に努めている。

問 電子自治体の実現に向けた整備方針は。

町長 第1次総合計画により、電子自治体推進など、4項目を基本計画として実施していく。

問 農業振興策について、担い手、後継者、集落営農組織の育成策は。

町長 地域担い手育成総合支援協議会で検討している。新規就農者を受け入れ、営農技術指導を行い育成を図っている。集

落営農組織の育成についても進める。

問 地産地消の拡大策として、直売所やインショップの展開。給食への地元農産物の供給増を。

町長 農産物直売所が4カ所ある。施設整備の検討を始めている。給食へは各地の農家から供給されており、今後も拡大していく。

問 遊休農地を活用し、学校農園づくりでさらなる食育推進を。

町長 授業の中で農業体験を実施している。今後収穫の喜びを体験する機会をつくる。

ほかに情報通信、農政等に関する2件の質問がありました。(省略)

安心とゆとりの 子育て環境を

宮崎博巳



問 安心とゆとりを持つて子育てができるよう、地域でサポートできるシステムの検討を。

町長 町の次世代支援地域行動計画に沿って、支援ネットワーク連絡協議会のご協力をいただき、2月末を目標に保育サポート・養成講座を開催。講習修了者はファミリーサポーターとして活動していただく。

子どもの病後時や体調不良時の保育対策、医療

機関との連携を確立して、子どもや保護者の安心確保のため事業を進める。

問 小児が安心して医療が受けられるよう、医療費助成の拡大が必要と思うが。

町長 小児医療費助成の拡大は、来年4月から県下一斉に乳児医療費の支払方法が、現行の償還払いから現物支給になり窓口での支払いがなくなる。窓口無料化は、これから

の子育て支援策として有効な施策と考える。財政状況の見通しの上に立ち早期実現に向けて努力する。

病気に関する町の相談窓口は、子育て支援係が窓口や電話で対応。夜間・休日は相談専用の携帯電話「こここフォン」で、保健師が365日24時間体制で対応している。

問 町の財源確保策として、広告収入の考えは。

町長 他町に先駆けて取り組んだ時期もあったが、今は重要な課題である。各地の自治体の成功例などを参考に早急に調査研究を進める。

市川三郷 町立病院

あの話 どうなってるぞら

vol.2

概要

都道府県や市町村が運営する自治体病院のうち約90%は赤字で、一般財源からの繰り入れが恒常化し、財政圧迫要因にもなっています。

その原因としては、平成16年度に開始された新臨床研修制度による医師不足や、18年度の診療報酬引き下げなどが挙げられます。

医師不足対策

町立病院が抱える最大の問題は医師不足です。最低限、現在の医師数を確保していくために、12月定例会において医師確保のための特殊勤務手当の特例に関する条例を制定しました。厳しい労働環境にある勤務医の民間病院に比べ劣る待遇を改善するために、手当ての枠を広げるもので、来年度から施行されます。また、町長を先頭に全力で関係機関に働き掛けていることも付記します。

耐震診断

昭和49年に設立された町立病院は、すでに31年が経過し、施設の老朽化と耐震性が喫緊の課題となっています。そのため、今年度予算で耐震診断費用を計上し、平成20年1月末までの工期で耐震診断調査を行っています。

経営診断

地域医療体制充実事業として、平成18年度の国の合併関連補助金を受け、町立病院の経営診断と今後のあり方や経営改善を検討しています。

- 平成19年6月1日から平成20年3月31日までに、
- ①現在の経営状況を確認。
- ②それを基に今後のあり方を検討。
- ③継続的な病院経営改善策を検討し実行していきます。

職員数の現状		平成18年度患者数	
医師	9人	入院患者	
技師	17人	年間	19,614人
看護職員	68人	1日平均	53.7人
薬剤師	4人	外来患者	
栄養士他	9人	年間	80,606人
事務員	15人	1日平均	329人
(平成20年1月1日現在)			

平成18年度決算	
病院事業収益	15億9,986万円
病院事業費用	17億2,438万円
当年度純利益	△1億2,452万円
累積赤字	2億7,004万円

平成18年3月

問 患者数増加対策は。
答 医師確保を関係機関に再三お願いしている。

平成18年12月

問 活性化が急務。
答 医師確保、耐震診断と機器の整備も必要。
問 抜本的な改革を。
答 質の高い地域医療を推進する。
問 診断より存続方法。
答 耐震と経営診断をする。梨大医、自治医大との関係構築を図る。

平成19年3月

問 今後のあり方は。
答 医師確保は困難。町職員の血縁も頼る。峡南6病院の連携を確立する。

平成19年9月

問 内外部環境調査は。
答 医師確保に全力、地域医療を充実したい。
問 診断結果からでは遅い。
答 耐震診断の結果閉鎖し、他の病院との連携もある。経営診断の結果規模縮小、建て替えも考えられる。

これまでの 議論の経過

平成19年12月

問 機能を維持する方策は。
答 現在地に病院を残したい。老健施設を含め病院機能を維持。20年度中には方向を示す。

一部事務組合議会の報告

ゴミ処理や火葬場などの事務事業を、いくつかの市町村で共同処理をおこなっています。その事務事業のチェックを組合議会でおこないます。

〈峡南広域行政組合〉

第2回定例会は10月23日開会されました。提出された議案は平成18年度一般会計決算認定など8件で、いずれも原案通り可決されました。

組合職員の定数条例改正では救急車への乗車人数の増加、及び消防職員の大量退職に備え、定数を102人から108人に改正するものです。

〈峡南衛生組合〉

第2回定例会は10月25日開会されました。提出された議案は平成18年度一般会計決算認定など2件で、いずれも原案通り可決されました。

補正の内容は、焼却炉補修工事費845万円、ガス分析計購入1000万円を追加するものが主なものです。

正副議長選挙により私、志村公人が副議長に選出されました。

(報告者・志村公人)

〈三郡衛生組合〉

平成18年度一般会計、特別会計の決算は、表の通りであり認定されました。

正副議長の選挙が行われ、副議長に私、村松武人が選出されました。(報告者・村松武人)

〈報告者・渡井要〉

第2回定例会は9月27日開会されました。提出された議案は平成18年度決算認定など計5議案でした。

平成18年度一般会計・特別会計の決算は表の通りであり認定されました。

第3回定例会が12月4日開会され、提出された案件は平成19年度し尿処理事業特別会計補正予算1件であり、可決されました。

〈中巨摩地区広域事務組合〉

第2回定例会は9月28日開会されました。提出された議案は平成18年度一般会計・特別会計決算認定の6件でした。内容は表の通りであり、いずれも原案通り認定されました。

(報告者・赤池貞親)

〈山梨県後期高齢者医療広域連合〉

10月定例会は、11月22日開会されました。提出された案件は平成18年度一般会計決算、平成19年度一般会計補正予算及び条例の制定の3件であり、いずれも原案通り承認、可決されました。条例では、医療給付、保険料についての規定など、制度の開始にあたり、広域連合が行う業務に必要な条例の制定でした。

(報告者・秋山詔樹)

平成18年度一般会計・特別会計決算

(支出金額)

〈峡南広域行政組合〉

一般会計	16億2,423万円
介護保険特別会計	2億2,959万円
峡南ふるさと市町村圏特別会計	643万円

〈峡南衛生組合〉

一般会計	5億6,423万円
------	-----------

〈三郡衛生組合〉

一般会計	3,195万円
し尿処理事業特別会計	2億7,936万円
火葬事業特別会計	1億6,622万円

〈中巨摩地区広域事務組合〉

一般会計	8,102万円
ゴミ処理事業特別会計	19億9,116万円
地区公園事業特別会計	2億8,235万円
老人福祉事業特別会計	3,244万円
勤労青年センター事業特別会計	4,804万円
し尿処理事業特別会計	5億6,847万円

〈山梨県後期高齢者医療広域連合〉

一般会計	1,914万円
------	---------

年金から天引きは理不尽 効率的に公平を確保

審議結果

・町立保育所古屋振興基金条例の制定	可決 (全会一致)
・医師確保のための町職員の特殊勤務手当の特例に関する条例の制定	可決 (全会一致)
・国民健康保険税条例の改正	賛成多数
・特別会計条例など条例の改正3件	可決 (全会一致)
・土地の取得	可決 (全会一致)
・平成19年度一般会計補正予算	可決 (全会一致)
・平成19年度特別会計補正予算8件	可決 (全会一致)
・平成19年度病院事業会計補正予算	可決 (全会一致)
・職員給与条例中改正	可決 (全会一致)
・教育委員会委員の任命に同意	同意 (全会一致)
・教育予算の拡充と、教育の機会均等及び水準の維持向上を求める意見書の提出	可決 (全会一致)
・駐車規制及び駐車許可制度の運用に関わる警視庁通達の見直しを求める意見書の提出	可決 (全会一致)
・議会議員の報酬、費用弁償等に関する条例の改正	可決 (全会一致)

国民健康保険税の条例中改正について

反対 一瀬 正
 国保税を年金から天引きするための改正。年金の少ない高齢者はどう生活するの。経済大国を支えてきた高齢者を苦しめる政治は間違っている。よって反対する。

賛成 小林 一史
 国保税は医療費に充てられる重要な財源。国の制度移行に伴う改正。効率化が図られ、収納率の向上や公平性の確保に寄与する。よって賛成する。

(賛成16 反対1)

Q&A お答えします。

Q 表紙の写真を撮影する人の顔も苦勞も見えないが。

A 議会広報の表紙写真は、編集委員が独自に撮影しています。町民の暮らしの中の表情を時節に合わせて撮影できるように心がけています。

Q 質問と答弁が常体文なので乱暴な印象を受けるのだが。

A 口語調の臨場感を伝えたいのと、記事の簡略化を期待しています。発言の期待していません。発言の期待していません。

言の種類によっては乱暴に感じられる所もあると思われ、注意して編集します。

Q 一般質問の質問議員の顔写真を毎回掲載すべきだと思いが。

A 議会広報発行の趣旨は、議会の活動を周知することです。議員個人の写真の掲載は、慎重であるべきという意見もあります。折中案という形で年1回の写真掲載とさせていただきます。

Q 委員会の傍聴ができないのはなぜ。

A 委員会は、おもに議会が付託した議案の調査、審査をする機関で、権限は委員長にあります。傍聴の取り扱いに関する権限も同様です。本町では議会委員会条例により、「委員長の許可を得た者が傍聴することができる」としていますが、現在までにその実績はありません。

お答えしますQ&A
 議会広報モニターから寄せられた質問や意見の一部を、お答えしたものです。

議員の費用弁償廃止へ
 社会情勢に鑑み、本会議など出席時の日当を廃止する条例の改正を議員発議により提案し、全会一致で可決しました。

教育委員の任命に同意
 岩間536番地 小林隆義氏 任期満了により教育委員が欠員となったため任命に同意しました。

議会の動き

- 9月5日～14日 第3回定例議会
- 21日 議会広報編集委員会
- 27日 三郡衛生組合第2回定例会
- 28日 中巨摩地区広域事務組合第2回定例会
- 10月 1日 議会広報編集委員会
- 12日 議会広報編集委員会
- 22日～23日 町村議会議長行政視察
- 23日 峡南広域行政組合議会第2回定例会
- 24日 町村議会議員研修会
- 25日 峡南衛生組合議会第2回定例会
- 29日～30日 町村議会広報編集委員長視察研修
- 11月 19日 町村議会広報コンクール表彰式および研修会
- 22日 後期高齢者医療広域連合議会10月定例会
- 26日 議会広報編集委員長会議
- 28日 市町村自治講演会
- 30日 町村議会議長会全国大会
- 12月 3日 町村議会議長会議
- 11日～19日 第4回定例議会

原稿を募集します。

みなさまのご意見をお寄せください。

400字原稿用紙1枚以内、氏名(区名)・顔写真の掲載など詳細は、お問い合わせ下さい。
お問い合わせ: 議会事務局 ☎055-272-1108



みんなのページ

入倉智喜くん 増穂中2年
僕の夢は、秋田のTDKに入って野球で活躍することです。

折居優太くん 市川中2年
僕の将来の夢は、プロ野球の選手です。そのために甲子園で活躍してプロの選手になりたい。

白川峻也くん 甲西中2年
僕の将来の夢は、甲子園に行きプロ野球の選手になりたいです。夢を達成したいです。

渡井光太郎くん 市川中2年
僕の夢は、好きな高校に入り、好きな野球をし、甲子園に行くことです。

深沢駿斗くん 市川中2年
僕の将来の夢は、中学、高校と野球を続けてシニアのコーチ、監督になることです。

保坂裕斗くん 甲西中2年
僕の将来の夢は、プロ野球の選手になることです。両親に恩返しをしたいです。

赤池貴弥くん 三珠中2年
僕の将来の夢は、好きな高校に行つて野球をすることです。

志藤留美さん 下部中2年
私の夢は、市川シニアで習ったことを生かした仕事につきたいです。ボールとバットを使つたスポーツを続けたいです。

森越智之くん 玉幡中1年
僕の夢は高校で野球をして、卒業したら機械に関係する仕事に就職したいです。

ぼくの夢 わたしの願い

山梨市川リトルシニア (中学生硬式野球)



戦績			
9月9日~9月23日 関東連盟・西東京支部秋季大会			
○1回戦	山梨市川 対 小金井	1	勝
○2回戦	山梨市川 対 東京日野	0	勝
○3回戦	山梨市川 対 小平	3	負
○敗者復活戦	山梨市川 対 国分寺	0	勝
第7代表権確保関東大会出場 32チーム中8チーム関東大会出場			
10月7日~11月4日 関東大会			
○1回戦	抽選シード		
○2回戦	山梨市川 対 青葉緑東	9	負
関東のレベルの高さを実感 選手ともども良い経験ができました。			
10月7日~11月4日 東京中日スポーツ杯			
○1回戦	山梨市川 対 東村山	1	勝
○1回戦	山梨市川 対 三鷹	4	負

須賀貴也くん 田富中1年
僕の将来の夢は、プロ野球の選手になることです。選手でなくても野球に関わる仕事は絶対したいです。

伊藤祥平くん 市川南中1年
僕の将来の夢は、頭のいい高校、頭のいい大学に入り、良い会社に行つて野球をすることです。

古郡拓也くん 甲西中1年
少年野球、市川シニア、野球から夢が生まれました。それは、先生、そして甲子園に行ける監督。

植村龍くん 笛南中1年
僕の将来の夢は、プロ野球選手か野球に関係する仕事をしたいです。野球はすごく楽しい。ずっと続けて行きたいです。

乙黒圭くん 敷島中1年
自分の夢は、高校、大学と野球を続け投手としてチームに貢献し活躍することです。

佐野拾次郎くん 市川中1年
将来の夢は、プロ野球選手です。高校で甲子園に出てドラフトで指名される選手になりたいです。

編集後記

第4回12月定例会は、無事閉会しました。厳しい財政の中、予算の使途に対し、町民の皆様が納得できるチェック機関として、議会の責任はますます重要だと感じていきます。

今年ブームを巻き起こした映画「オールウェイズ 続三丁目の夕日」は、昭和30年代を背景に描かれ、どこかほのぼのとしていて、時間がゆっくりと流れていました。不便さはあるが、将来に夢や希望を持ち続ける力強さに感動しました。市川三郷町においても、町民の皆さまが将来に対して夢や希望を思い描ける町にしたい。その責任が私たち議員一人ひとりにかかっています。課せられているのだと思えます。

(記 宮崎博己)

議会広報編集特別委員会

- 委員長 遠藤 浩
- 副委員長 青沼 博
- 委員 宮崎博己
- 赤池貞親
- 小林一史
- 内田利明